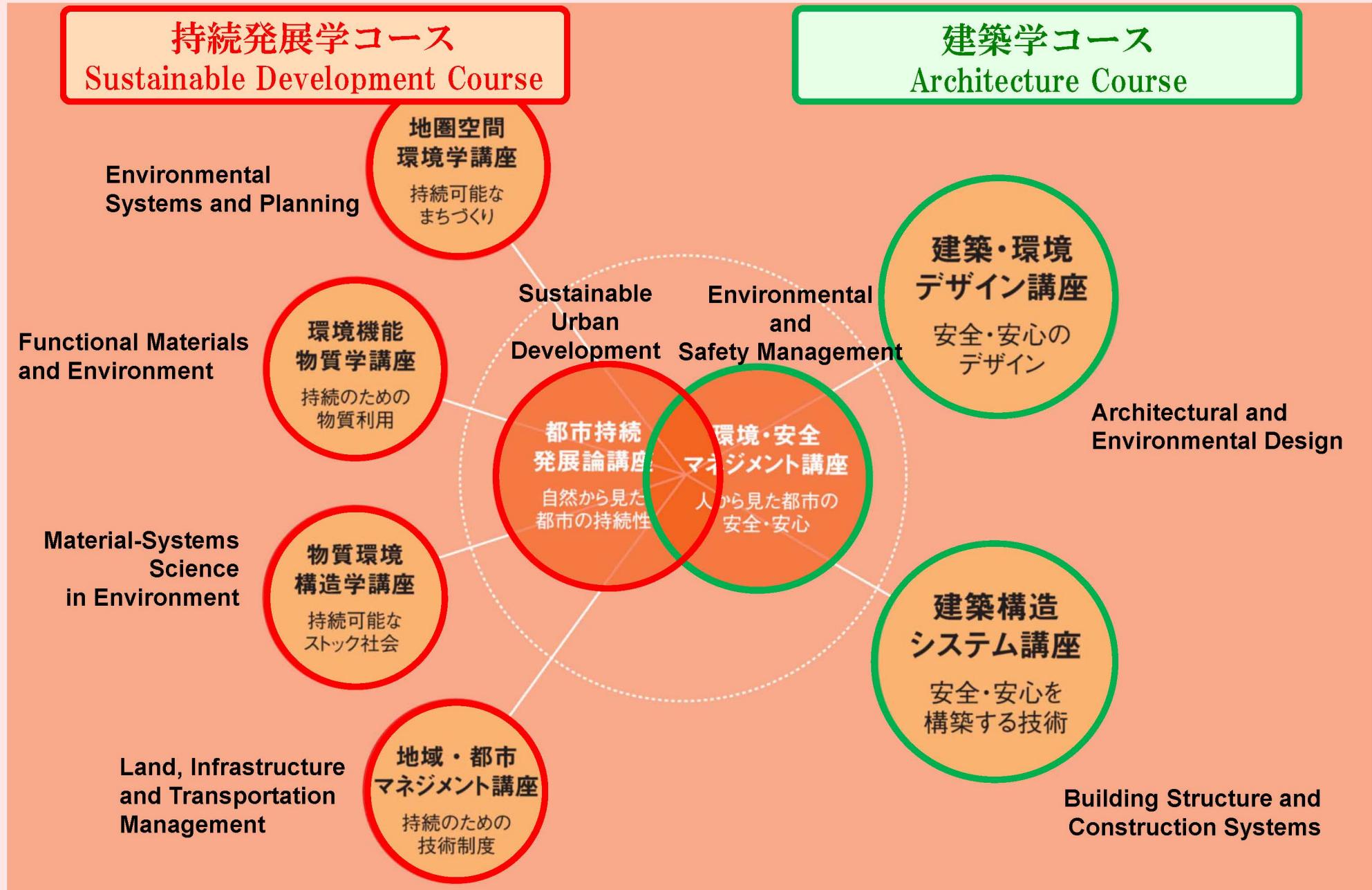


都市環境学専攻



Department of Environmental Engineering and Architecture

谷川寛樹 専任教授



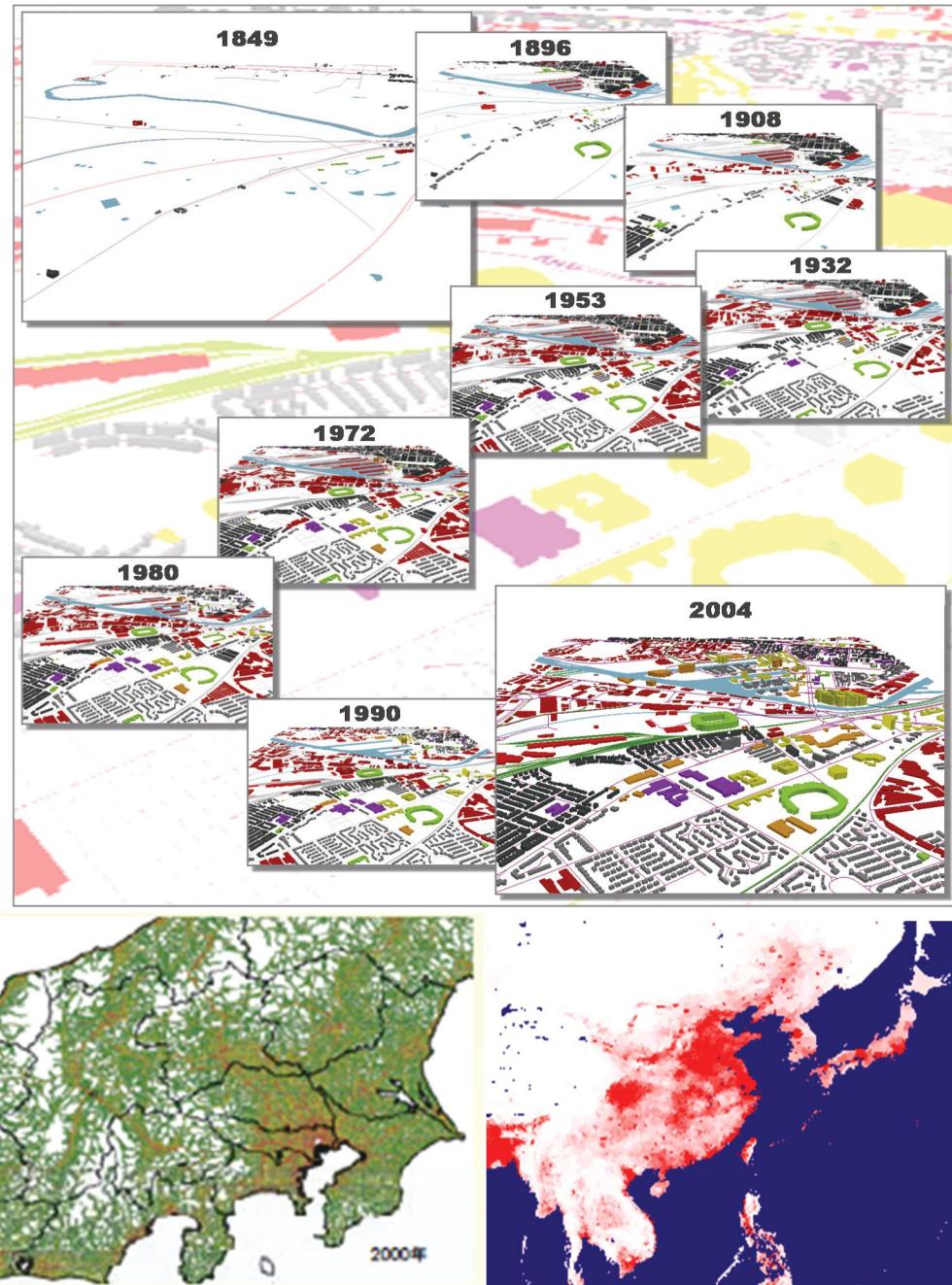
九州大学大学院工学研究科で修了。和歌山大学・マンチェスター大学を経て、名古屋大学へ。専門は環境システム工学。

研究テーマ

- ◆ 都市の「重さ」と持続性: マテリアルフロー・ストック分析
- ◆ 低物質・低炭素型の持続可能な社会
- ◆ 都市建築物やインフラの資源投入・排出量の定量化
- ◆ GISを用いた経年ストック推計・面的分析
- ◆ 中国・インド・アジアにおける持続可能な発展経路
- ◆ MFAを用いた持続可能性指標に関する研究
- ◆ Google Earthを用いた地理情報配信

所属学会

土木学会, ISIE(International Society of Industrial Ecology), 廃棄物学会, 日本リモートセンシング学会, 環境科学会, 環境情報科学



都市環境学専攻持続発展学系 環境システム・ストック型社会

Environmental system

気候変動の影響は既に顕在化しているといわれています。しかし、気候変動対策には多額の費用が必要で予算には限りがあるため、どこで、どのような対策を優先的に実施すべきか、という問題が起きていています。

衛生データを用いた災害リスク評価、将来の人口予測、など自然科学的知見・社会科学的知見を統合して、気候変動が社会に与える影響や対策の効果をシミュレーションできる、気候変動対策支援システムの開発に取り組んでいます。

白川 博章

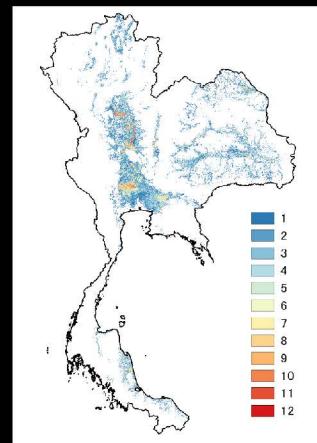
SHIRAKAWA Hiroaki



日本における気候変動適応策
webシミュレータの開発

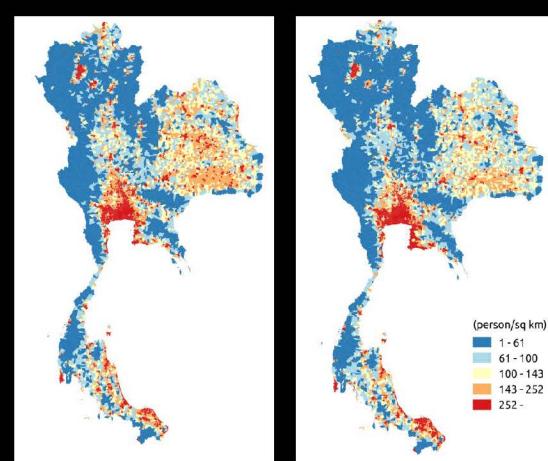


洪水による想定浸水深を3Dで表示



衛生データを用いた
洪水リスクの評価

タイにおける気候変動適応策の研究



2015年(実績)
2050年(予測)
人口の空間分布



タイ北部における洪水被害の現地調査